

事例番号：260045

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度

原因分析委員会第六部会

1. 事例の概要

初産婦。膣分泌物培養検査が妊娠13週、27週、29週、35週に行われ、B群溶血性連鎖球菌（GBS）は陰性であった。妊娠36週6日、妊産婦は水っぽいものが流れ出る感じがしたため当該分娩機関に連絡し入院した。陣痛開始時刻と破水時刻は、妊産婦が羊水流出を自覚した入院の10分前とされた。羊水混濁はなかった。膣分泌物培養検査が行われ、分娩後4日の報告でGBSが（3+）であった。入院から約4時間後に経膣分娩により児が娩出された。羊水量は中等量で、羊水混濁はなかった。臍帯巻絡が頸部に2回みられた。

児の在胎週数は36週6日、体重は2668gであった。アプガースコアは生後1分9点（心拍2点、呼吸2点、筋緊張2点、反射2点、皮膚色1点）、生後5分10点であった。臍帯動脈血ガス分析値は、pH7.402、PCO₂35.3mmHg、PO₂33.6mmHg、HCO₃⁻22.0mmol/L、BE-1.5mmol/Lであった。生後5日、児の吸啜力は不良で、筋緊張が弱い状態であり、児の顔色は全体的に不良で、経皮的動脈血酸素飽和度は80%台、心拍数は150～160回/分であった。看護スタッフは、保育器に収容し、酸素投与を5L/分で開始し医師に状況を報告した。医師はNICUを有する医療機関への連絡を指示し、その後、NICUの医師が到

着、搬送となった。NICU入院時の血液ガス分析値（静脈血）は、pH 7.084、PCO₂ 93.3 mmHg、BE -6.8 mmol/Lで、CRPは4.98 mg/dLであった。処置の刺激で反張位となり、眼球の落陽現象様の変化が認められた。経皮的動脈血酸素飽和度の低下が認められ、人工呼吸器管理となった。細菌培養検査が行われ、GBSが認められた。髄液検査の結果から、髄膜炎と診断された。生後24日行われた頭部MRIで、両側側脳室の開大が認められ、脳実質はT2強調画像で高信号を示しており、虚血が疑われた。また、T1強調画像、FLAIR画像では左側頭葉、両側後頭葉の脳回に沿って高信号域が認められ、出血性梗塞の可能性があると診断された。

本事例は診療所の事例であり、産婦人科専門医1名（経験14年）と、准看護師2名（経験26年、39年）が関わった。

2. 脳性麻痺発症の原因

本事例における脳性麻痺発症の原因は、早発型のGBS感染症で、髄膜炎および敗血症性ショックとなり、脳神経障害を来たしたと推測される。感染経路は発症時期から分娩時の垂直感染（子宮内感染や産道感染）の可能性が高いが、出生後の水平感染の可能性も否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価

外来における管理および切迫早産での入院管理は一般的である。早産、前期破水例に対して、膣分泌物培養検査を実施したことは一般的である。妊娠35週で実施された膣分泌物培養でGBS陰性を確認していたため、抗生剤投与を実施しなかったことは一般的である。

分娩経過中の胎児心拍監視および管理は一般的である。

破水後入院時に採取した膣分泌培養検査からGBSが検出されたため、児

のG B Sの保菌状態を確認するため鼻咽頭の細菌培養検査を行ったことは、児への感染の防止には有効ではないが、確認のために検査を行ったことは一般的である。

母子同室ではあったが、約8時間、授乳を行わなかったことは、観察が不十分であると指摘する意見があった。児の無呼吸発作、筋緊張の低下、経皮的動脈血酸素飽和度の低下を確認し、速やかにNICUに搬送を行った一連の処置は適確である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

新生児の管理について

母体がG B S保菌者で分娩時に抗生剤の予防投与が実施されなかった場合、児に重篤なG B S感染症が発症することがある。本事例では、妊娠中のG B SスクリーニングではG B S陰性であったため、分娩時に抗生剤の予防投与が実施されなかったことはやむを得ない。しかし、破水後、分娩で入院した36週6日の膣分泌物培養検査ではG B Sが陽性であった。このG B S保菌が判定された後はより注意して新生児の観察や母への指導を行うことが望まれる。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

特になし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

G B Sの迅速かつ、確実なスクリーニング方法の開発、導入などの検

討ならびにG B S 検査の検体採取方法について産婦人科診療ガイドラインー産科編のA n s w e r に採取部位の記載についての検討が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

特になし。